

現在、i-Construction施策の柱の一つとして進めているICT土工やUAVの活用などに関しては、現場内の転石や狭隘な谷地形などの環境下においてマシン・コントロール、マシン・ガイダンス建機の使用等が困難なことから砂防現場では普及が進んでいない。

一方で管内の砂防工事は、高標高域での現場が多く、作業員にとって厳しい作業環境である上に天候に左右されやすく、冬期施工が困難なため工程管理等が極めて困難な分野と言える。

これらの実態を踏まえ、砂防現場におけるi-Constructionの導入を加速させることを目的に平成30年12月に「**チャレンジ砂防プロジェクト**」を立ち上げた。

チャレンジ砂防プロジェクト

【プロジェクトチーム】

企画部 技術調整管理官、技術管理課、施工企画課
河川部 地域河川調整官、河川計画課、河川工事課
北陸技術事務所

【目標等】

【担当】

導入促進WG

砂防工事におけるi-Constructionを導入促進するための各種施策に関する検討を行う。

○河川工事課
技術管理課

技術開発WG

砂防ICTの実現にあたって、より生産性を向上させるための建設機械(ソフト含む)、アタッチメント等の技術開発を検討する。
無人化施工技術の高度化を検討する。

○施工企画課
北陸技術事務所
河川工事課

UAV活用WG

砂防設備の点検等においてUAVの全面的な活用に資する技術指針等の検討及び砂防設備の長寿命化におけるUAVの活用について検討する。

○北陸技術事務所
河川工事課
河川計画課

BIM/CIM活用WG

具体的な現地フィールドを設定して、現場環境や施工条件等に応じた砂防CIMガイドラインを検討する。

○河川計画課
河川工事課
技術管理課

概ね2年で技術開発等を完了し、2021年度から「本格的な砂防ICT」導入を目標とする。

